



ひだまり

第41号

2009年12月

目次

今日日本

我们最爱“本地货”!



© Hikone City

人物采访

ふるさとを知る、伝える



発行 財団法人国際文化フォーラム

編集人 中野佳代子

編集・制作 飯野典子

千葉美由紀

長江春子

森本雄心

翻訳・校正協力 シンプルデザイン

財団法人国際文化フォーラム
(TJF)

〒112-0013

東京都文京区音羽 1-17-14

音羽 YK ビル 3 階

電話：81-3-5981-5226

ファックス：81-3-5981-5227

http://www.tjf.or.jp/

E-mail: hidamari@tjf.or.jp

教材作りに写真を活用してみませんか

http://www.tjf.or.jp/photodatabank_j

「TJF Photo Data Bank 日本編」には、日本の文化、社会、自然、小中高校生の生活や学校の様子など、日本語学習に役立つ写真が3,700枚以上掲載されています。

会員登録をすれば、大きいサイズの写真が閲覧、ダウンロードできます。非営利の教育目的の場合に限り無償で利用できますので、教材を作る時はぜひ会員登録してみてください。

1. 会員登録・ログインの方法

① トップページ「会員登録」をクリック。②規約をよく読んで「同意章程」をクリック。③名前、住所などをフォームに入力して「送信」をクリック。④登録したメールアドレスに、IDとパスワードが送られてきます。⑤トップページに戻り、発行されたIDとパスワードを「登録」に入力して「go」をクリックすると、ログインすることができます。

表示言語は、中国語に切り替えることができます。



2. 写真の検索方法

例えば、「正月」の写真を探してみましょう。「分類一覧」をクリックしてください。写真の検索方法は二つあります。

方法1 キーワードを日本語(漢字かな混じり)もしくは英語で入力。※中国語よりも、日本語または英語での入力がお薦めです。



方法2 探したい写真のカテゴリーをクリック。



3. 写真の保存方法

検索結果から、探している写真を選びます。クリックすると大きいサイズで表示されます。「查看最大尺寸的图像」をクリックすると、さらに大きなサイズで、その写真を保存したり印刷したりすることができます。



※ TJF Photo Data Bank には、中国編 (http://www.tjf.or.jp/photodatabank_c) もあり、中国のさまざまな面を写真で紹介しています。ぜひ、あなたの身の回りの写真を撮影して、説明文を付けて TJF (databank@tjf.or.jp) まで送ってください。(注意: 許諾が取れていない人の顔や、アニメのキャラクター、商品のロゴなどがはっきり写っている写真は使用できません。)

我们最爱“本地货”！

现在，冠以“本地”之名的东西越来越多，比如本地拉面、本地咖喱等本地饮食；以本地丘比、本地凯蒂猫（Hello Kitty）等为代表的本地小饰品；还有本地检定（当地知识考试）等到处可见。这几年，只有特定地方才有的东西，也就是所谓的“本地货”人气攀升。为什么人们现在这么痴迷“本地货”呢？哪些东西最受欢迎？有关本地货热潮的现状及其背景，请看本期的报道。



版面中标有这个图标处表示在“点击日本”的网页上登有相关信息。<http://www.tjf.or.jp/clicknippon/>

重新发现区域文化！

在最近的数十年来，随着交通工具的发达以及技术创新的进步，不管身在何处，人们都能简单地获取信息、购买同样的商品。从某种意义上来说，社会在各个方面正在走向均一化。尽管如此，各地独有的文化却依然根深蒂固地存留至今。

文化的区域性差异，源于各种各样的因素，各地本来就有不尽相同的地理、气候水土、历史、物资流通途径等。日本是一个南北向呈狭长形状的国家，因此各地的气候水土迥然相异。日本国土的大约70%为山地、森林所覆盖，河川密布，在交通工具不甚发达的时代，靠海还是傍河、还是四面环山都会给文化带来

很大影响，最终使区域文化间产生各种差异。

近年来，电视等媒体也逐渐关注日本的这种区域多样性，开始向人们介绍具有区域特色，即“本地”的东西。其中有一个电视节目，就是把“本地”的东西从食物、习俗等各方面进行介绍，很有人气。通过节目，电视观众会意识到自己习以为常的食物或习俗，其实是所在地特有的。同名的菜肴，因区域不同，食材、吃法也各异。观众可以从节目中发现各种各样的差异，从这些差异中体验乐趣。

区域传播



1950年代中期到1970年代初，日本的高度经济增长带来了工业化和城市化。许多人从地方进入城市，地方上的老龄化、人口密度过稀的状况日益严重。为了抑制人口减少的趋势，振兴地方经济，各地政府、经济界正在积极采取措施。

本地检定

最近，各地流行举办“本地检定”，即将当地的历史、文化、产业等相关问题编成试题进行评审的活动。2004年开始的京都观光文化检定考试（俗称京都检定），参加人数超过1万人，开了“本地检定”热潮之先河。如今各种本地检定数不胜数。2006年出售的NintendoDS游戏软件“本地检定”，汇编了日本各都道府县制定的相关考题（<http://www.spike.co.jp/gotouchi/main.html>）。

现在，这种本地检定对当地人们来说，已成为一个重新审视其地方魅力的契机【请参阅本期人物采访】。

由高中生开发商品

当地的高中与企业合作，以地方特产为材料，开发、销售

特色食品的例子也不断增多。例如，北海道留萌千望高中与当地的制面厂、水产公司合作，推出了在面里掺加糯米的“粘乎乎意大利面”。

随意吉祥

为了宣传本地区的特色，许多地方政府专门制作了本地的吉祥物。这些本地吉祥物被诙谐地称为“随意吉祥^{注1}”，最近很有人气。2006年，为纪念彦根城建城400周年制作的“彦根猫咪”成为人们热议的话题。许多游客仅仅为了看一眼“彦根猫咪”而专程赶到滋贺县彦根市。“彦根猫咪”在振兴地方经济方面所发挥的作用非常引人注目。2009年10月举办的“彦根随意吉祥节——吉祥人偶峰会”，汇聚了来自日本全国各地的109个本地吉祥人偶。在随意吉祥节的3天时间内，到场参观的游客超过72,000人次。（<http://kigurumi.shiga-saku.net/>）



“彦根猫咪”

© Hikone City

★注1：随意吉祥：这些吉祥物的理念以及设计都很自由、随意，让人不由得放松紧张情绪。由插图画家三浦纯命名。

【关键表达对照】

凯蒂猫：ハローキティ
卡通人物：キャラクター
汤汁：出し
史迪奇：スティッチ
笑星：お笑い芸人

丘比：キューピー
随意吉祥：ゆるキャラ
杂煮（烩年糕）：雑煮
本地点心：ご当地スナック

本地货：ご当地
彦根猫咪：ひこにゃん
本地小饰品：ご当地グッズ
普通话：共通語

本地检定：ご当地検定
卡通服装：きぐるみ
迪斯尼：ディズニー
方言：方言

吉祥物：マスコット
峰会：サミット
美妮：ミニーマウス
～话（～地方的方言）：～弁

北海道

青森

岩手

秋田

宫城

山形

福岛

栃木



品味相异之乐!

饮食

区域不同，饮食文化也千差万别，但从总体上来看均有其风味流派。风味的差异虽然没有明确的分界线，但东部日本和西部日本的风味爱好有所不同，比如在肉食方面，东部日本多食用猪肉，西部日本则以牛肉为主，这两个区域的人喜欢使用的汤汁和酱油的口味也不一样。

食品厂商在开发商品时，也会考虑到饮食文化的区域性。比如日清 (Nissin Food Products) 的盒面“饨兵卫”，调料的基本成分为鲣鱼、海带、酱油。在销往东部日本时，增加鲣鱼的比例，用浓色酱油起鲜，而在卖到西部日本时，则多加海带，使用淡色酱油。

是同样的菜肴还是不同的菜肴?

杂煮 (烩年糕) 是经常用来说明饮食差异的例子。杂煮就

是在煮有蔬菜、海鲜、肉类等材料的汤里加年糕做成的烩菜，大部分地区都是作为正月里的佳肴。说到不同，首先是年糕的外形不一样。东部日本是方形年糕，西部日本则是圆形年糕。再者，东北^{注2}、关东、九州地区用的是高汤，而关西用的是酱油。配料也因地区不同而有很大区别，但大多是使用各地的特产食材，比如较有特色的有秋田县的野菜杂煮、宫城县的海鲜杂煮、广岛县的贝类杂煮等。

注2: 东北地区多指本州岛最北的六县，关东地区多指东京都和周边六县，关西地区多指大阪和京都两府以及周边四县，九州多指九州本岛及周边小岛。



⑨ 广岛

きつか……

がば

ぶり

ぱり

いじ

わっぜー

でーじ

⑩ 长崎



本地小饰品

在车站或 (高速公路的) 服务区等处的商店里，出售很多当地的特产及礼品。最近，受到年轻人喜爱的是仅在当地才能买到的本地小饰品及本地点心。

本地小饰品中特别有人气的是“着丘丘比”及“本地凯蒂猫”等。这是将日本有名的丘丘比及凯蒂猫披上当地特产、名胜古迹以及名人等衣装的商品。其中包括印有这类卡通人物的文具、手帕等。1998年“薰衣草凯蒂猫”问世以来，至今据说已有1,000多种本地凯蒂猫出售。此外，迪斯尼卡通人物的美妮、史迪奇也有各种本地版本。除了这些全国知名的卡通人物外，以当地物产为主题的区域特色商品也广受欢迎。



© 1976, 2009 SANRIO CO., LTD, APPROVAL NO. S503076



冲绳



鹿児島



长崎

茨城



群馬



埼玉



東京



千葉



神奈川



山梨



----- : 盒面“钝兵卫”面向东部日本商品与面向西部日本商品的分界线

○ : 「とても」(很、非常)的各地方言

○ : 「つかれた」(累了)的各地方言

なまら



① 秋田

らずもね

まげに



くたびれた……

ぶち

⑥ 鳥取

えらかった……

めっちゃ

ぼっけー

えらい……

すんげえ

钝兵卫

でら

すっげー



④ 东京

しんけん

しょう

ものすご

ごっつー

むっちゃ

がんこ

よだき……

ことうたちや……

ごっつい

しんだい……

⑤ 三重

てげ

たいぎゃ



⑦ 香川

□ : 方形年糕的地区

□ : 圆形年糕的地区

① © Ryusendou Kankoukaikan

② © Miyagi Prefecture

③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ © Zenkoku Mochi Kogyo Kyodo Kumiai

⑧ 鹿児島



宮崎



熊本



大分



佐贺



福岡



高知



爱媛

新潟

長野

富山

石川

福井

岐阜

静岡

愛知



语言

关西话、鹿儿岛话、栃木话、津轻话……。分类方法以地区、县、市等范畴不一、各种各样。要而言之，方言的种类的确非常多。语调、重音各有特点，词语用法及表达方式也跟普通话截然不同。有些语意只有用当地的方言才能够表达出其微妙之处。

不过，直到不久前，还有很多人觉得说“方言”很丢脸，很土。在学校教育中，二战后的一段时间里，还有过引导学生们使用普通话纠正当地方言的举措。后来，随着电视的普及使普通话得到了推广，传统的方言逐渐衰落，于是人们又开始重新审视对方言的认识。

富有表现力的方言

现在，大家一般会根据不同场合区分使用方言或普通话。在与关系亲密的人之间进行私人交流时，方言有助于增强与同伴的连带意识，表明自己的出身和立场，使语言生活更加丰富。

另外，近年来倡导积极使用方言的活动也日渐增多。出现了专说方言的剧团或笑星。因为电视里以方言为主体的节目越来越多，所以几年前，在首都圈高中女生中曾经流行过方言热。她们跟朋友聊天或发邮件时会夹杂各种地方的方言。虽然有人指责将方言仅仅用于同伴间的暗号有失偏颇，但也有人觉得关注语言多样性不失为一种可喜的尝试。

雑学博士

47のキューピーの中で、自分の好きなキューピーを三つ選んで、そのキューピーの都道府県はどこにあるかを地図で探してみよう。選んだキューピーが着ているものは何か、また日本語で何というかも調べてみましょう。

解説は「ひだまり」ウェブサイトに掲載しています。

<http://www.tjf.or.jp/hidamari/index.htm>



“点击日本”的网页上登载日本47个都道府县的特产信息。

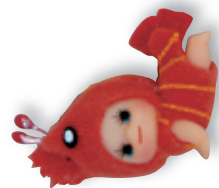


② 岩手

いきなり



③ 宮城



三重



山口



山形



大阪



東京



岩手



広島



香川



徳島



山口



岩手



鳥取



岡山



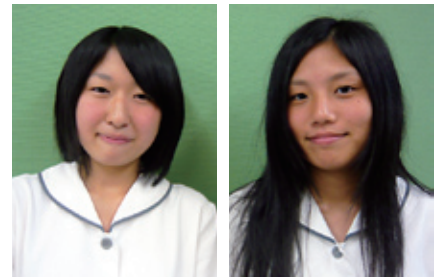
コスチュームキューピー® © ONLY-ONE

ふるさとを知る、伝える

ふゆき……特定非営利活動法人「ふるさと小松検定」+ 事務局 長

なつき……特定非営利活動法人「ふるさと小松検定」副事務局 長

いしかわけんりつ こまつしょうぎやうこうこう
石川県立小松商業高校3年



なつき

ふゆき

Q: 特定非営利活動法人「ふるさと小松検定」(以下、「小松検定」)のメンバーになったきっかけは何ですか？

ふゆき: 1年生と2年生のとき、「ふるさと小松検定探訪ツアー」という、小松商業高校の生徒が企画して地元の人たちに小松の名所旧跡を案内する活動に参加しました。それまであまり知らなかった小松のことを知ることができて、とてもおもしろい経験でした。それで、3年生になるときに、「小松検定」に参加することにしました。

なつき: わたしは、先輩たちから「小松検定」の話聞いて、地域の人と交流できるのがおもしろそうだと思います。「小松検定」に参加してもっと地域の人と関わってみたいと思いました。

ふゆき: 「小松検定」の事務局長は、先生にすすめられて引き受けました。これまでも、生徒会の会計をやったことがあります。事務局長の仕事は大変そうだし、ちょっと悩んだんですけど、こんな経験はなかなかできないと思って、やってみることにしました。

なつき: わたしも先生に誘われました。悩んだんですけど、副事務局長になったら地域の人とさらに関わることができると、自分も成長できるんじゃないかと思って引き受けました。

ふゆき: いろんなことを頼まれやすいんですよ、二人とも！

なつき: そういう顔してるんじゃないですかね(笑)。ふゆきさんはしっかりしていて、頼りになって、とてもおもしろい。いろんな面で助けられています。

ふゆき: なつきさんは、わたしのことをすごく甘やかしてくれるんですよ(笑)。わたしがなにか作業をしていて「できな〜い」って言うと、すぐ「わたしがやるよ〜」と言って助けてくれるんです。

Q: どういう活動をしていますか？

ふゆき: 事務局はおもに、ポスターやちらし・問題を作成する班と、ウェブサイト作りをする班に分かれています。11月に検定試験があるので、問題作成班はいま問題作りをしています。わたしたちは、二人ともウェブサイト制作班で、いまはウェブサイトの作り方を勉強しているところです。

なつき: ほかに、今年の検定試験の問題のネタを探しに出かけたりもします。この前は、小松駅の近くに残っている町家(写真参照)を訪ねて、町家保存会の人に説明してもらいました。わたしたちは事務局長と副事務局長なので、県庁などに提出する事業報告書や会計書類なども作ります。それから、地元の新聞の取材を受けたりもします。特定非営利活動法人の歴史や意義、運営については、学校の授業でも勉強しています。



町家は、江戸時代から昭和の戦前にかけて建てられた、商人や職人の住宅。
<http://www.city.komatsu.lg.jp/pre/machiya/k-koma-index.html>

Q: 二人は「小松検定」のどの級をもっているんですか？

二人: 1年生と2年生のときに初級を受けましたけど、2回とも落ちました！(爆笑)先生たちでもなかなか中級に受からないくらい難しいんです。それに、ちょうど簿記や情報、ワープロ、旅行業務など、就職に有利になる資格試験の時期と重なったので、「小松検定」はあまり勉強もしないで受けちゃったんです。

Q: 「小松検定」の活動をしていて大変なことってありますか？

ふゆき: ウェブサイトをつくるためのタグを覚えるのがすごく大変です！同じようなタグがいくつもあって、ひとつ覚えたとと思ったらすぐにひとつ忘れちゃうんです。特定非営利活動法人の書類作りも大変ですけど、ほとんどなつきさんが書いてくれて、わたしはハンコを押すだけなので……(笑)間違えずに、きれいにハンコを押すのもけっこう難しいですよ！

なつき: 大変なのは、やっぱり書類作りです(笑)。先生に教

えてもらいながら作るんですけど、書類を作るのは初めてだし、正式な書類なので文章も難しいし、書くこともたくさんあって、本当に大変でした。でも、今ではずいぶん慣れました！

Q: じゃあ、おもしろいことは何ですか？

ふゆき: わたしは、さっきなつきさんが言った町家見学がおもしろかったです。家の柱や壁のクギを、ちょっとした飾りもで隠したりしていて、そういう工夫のしかたがとてもおしゃれだと思いました。いろいろな人の意見が聞けるのも楽しいです。たとえば、授業を受けない先生とは普段は話す機会がないですが、「小松検定」をとおして、いろんな先生の考え方とか人となりを知ることができて、親しみを感じられるようになりました。

なつき: やっぱ、「ふるさと小松探訪ツアー」がおもしろかったです。これまで知り合う機会がなかった地元の人たちと親しくなることができました。ツアーの前には、学校の近所や駅前でピラを配って地元の人たちの参加をよびかけたりしました。小松のどこを案内したらみんなに楽しんでもらえるか、いろいろ考えるのもおもしろかったです。去年のツアーには、地元の人たちだけでなく、学校交流をしている大阪の高校の生徒10人も参加したんです。わたしたちも、かれらが企画する大阪ツアーに参加して、大阪のコリアンタウンとか牧場に連れて行ってもらいました。「小松検定」のおかげで、普通に学校生活を送っているだけでは経験できないようなことを経験できると思います。

Q: これからどういことをしていきたいですか？

ふゆき: お祭りなどで、地域の人に「小松検定」を宣伝するのが楽しみです。小松検定クイズなどをやって、たくさんの人を楽しませたいです。これから11月の試験に向けて、事務局全員でいっしょに作業をすることが多くなると思います。事務局長として、みんなが意見を言いやすい雰囲気をつくりたいと思います。みんなが楽しくできるように、普段から人の意見をちゃんと聞くようにしています。

なつき: わたしも、お祭りなどで小松の人たちと交流するのが楽しみです。副事務局長として、ふゆきさんをしっかりサポートしたいと思っています！（笑）

ふゆき: 甘やかされてますねー（笑）。

Q: 高校卒業後はどういことをしたいですか？

ふゆき: わたしは簿記が好きなので、経理や会計の仕事がしたいです。たとえば、会計の精算表は答えを出すために

たくさん計算をしなくてはいけなくて、ものすごく手間と時間がかかります。でも、答えをすばっと出せたときは、とても気持ちがいいんです！ 地元で仕事をしたいと思っています。県外は、ちょっとこわいです。大阪はまだ身近な感じがするけど、東京はちょっとこわい。できれば、これまで自分がずっと生活してきた土地にいたいです。

なつき: わたしは、県外に出ていろんなところで友だちをつくってみたいなあと思った時期もありますけど、今は地元で就職したいと思っています。わたしも、都会は人が冷たいイメージがあって、ちょっとこわいなあ。金融系の会社で働きたいと思っています。もし銀行で働くことになったら、地域の人も話す機会が増えると思うので、地元のことがもっとわかるようになるんじゃないかなあと思っています。

（取材は、2009年8月に行いました。）

+ “故乡小松検定”

始于2005年的“故乡小松検定”活动，主要由小松商业高中三年级的学生们负责组织实施。这一活动的目的是：①发掘故乡小松的亮点，传承给下一代；②开展了解故乡，向故乡学习的活动；③加深对故乡的感情，推进地区内人与人之间的联系。2008年，“故乡小松検定”成为“特定非营利活动法人”（非营利组织）团体。每年举办一次検定考试，级别分为初级、中级和高级。截至2008年为止已举行了4次考试，共有7,042人参加，其中2,756人合格。事務局还专门编写了考试用教材和习题集，除了进行考试的策划、组织和宣传外，还面向当地居民举办IT讲座。现在，事務局共有16名成员。
公式网站：http://www.tvk.ne.jp/~kshs/



わたしの好きなもの



好きなことば

ふゆき: 温故知新
昔のものがあるから今のものがあると思います。
なつき: 十人十色
ひとりひとり個性があって、みんな違うという考え方が好きです。

好きな食べもの

ふゆき: カレー
なつき: 桃

好きなこと

ふゆき: 読書
なつき: 音楽を聴くこと



了解故乡、宣传故乡



夏希

芙友季

芙友季 / 特定非营利活动法人“故乡小松检定”事务局局长

夏希 / 特定非营利活动法人“故乡小松检定”事务局副局长

石川县立小松商业高中三年级

Q：你们是怎样成为特定非营利活动法人“故乡小松检定”（简称“小松检定”）成员的？

芙友季： 上一二年级和二年级的时候，我参加了由小松商业高中学生们组织的“故乡小松检定探访之旅”活动，学生们带领当地的人们游览小松的名胜古迹。通过游览活动，我了解了很多以前不知道的事情，对小松有了新的认识，获得了非常开心的体验。所以，升三年级后，我就成了“小松检定”的一员。

夏希： 我是从高年级同学那里听说“小松检定”的，觉得能够跟当地的人们交流很有意思。所以想参加“小松检定”活动与当地的人们进行更多的交流。

芙友季： “小松检定”事务局长的工作是在老师的劝说下接受的。之前当过学生会的会计。事务局长的工作看上去很辛苦，我当时心里没底，但想到这种经历还是很难得的，所以就决定接受了。

夏希： 我也是在受到老师劝说时，心里拿不定主意，但想到自己如果成为事务局副局长的话，就能够有更多的机会跟当地的人们交流，并可以通过工作提高自己，所以就答应了。

芙友季： 不知为什么，经常会有人求我们俩做这做那。

夏希： 或许是我们脸上写着“有求必应”吧（笑）。芙友季是个很稳重的人，值得信赖，而且很有趣。在很多方面都帮了我不少忙。

芙友季： 夏希可是非常宠我的哦（笑）。我要是做什么事情时说“我做不了啦！”，夏希立刻会说“那我来吧”，向我伸出援助之手。

Q：你们都开展些什么活动呢？

芙友季： 事务局主要分成两个小组，一个负责制作海报、传单及考题方案，另一个负责网站的编辑。检定考试在11月举行，所以考题编制组正在制作考题方案。我们俩都是网页制作组成员，现在正在学习制作网页。

夏希： 另外，我们还外出为今年的检定考题寻找素材。以前，我们拜访过小松车站附近的町家^{注1}，向町家保存会的人请教了很多知识。我们俩担任事务局长和副局长的工作，所以，还要写向县政府等有关部门提交的活动报告及财务报表等。此外，我们还得接受本地报纸的采访。有关“特定非营利活动法人”（简称“法人”）的历史、意义及运营方法等，我们还可以在学校的课堂上学习。

Q：顺便问一下，你们俩拥有“小松检定”的什么级别？

芙友季、夏希： 上一二年级和二年级时考过初级，但两次都名落孙山（大笑）！考试是很难的，就连老师们也很难考过中级。而且在时间上，正好跟就业时需要的簿记、信息、打字、旅游业务等资格考试冲突，所以没能做好充分准备就参加了“小松检定”考试。

Q：在“小松检定”活动中，有没有觉得很辛苦的工作呢？

芙友季： 记住网页编辑要用的源码是非常辛苦的！类似的源码有好多个，刚记住一个却又忘了另一个。准备“法人”的材料也是很麻烦的，不过差不多都是夏希写，我只负责盖盖章，所以……（笑），当然，准确无误地盖好章也是很有难度的哦！

夏希： 说起辛苦的工作，要数编写“法人”的材料（笑）。我们一边请教老师一边写。因为写这种材料是头一回，再说，正式材料中所使用的表达方式很难，要写的东西又很多，实在是不容易。不过，现在已经很习惯啦！

Q：那么，有意思的事情是什么呢？

芙友季： 我觉得刚才夏希说的那次参观町家很有趣。房子的柱子、墙壁上的钉子都用一些小小的装饰遮掩起来，这种装饰的方法非常别致。另外，能够听到不同人的意见也很开心。比如不是自己班上的老师，平时基本上没有交谈的机会，但通过“小松检定”的活动，可以了解各位老师的想法和个性，开始对这些老师感到亲近。

夏希： 最有趣的还是“故乡小松探访之旅”，因为能够接近那些以前没有机会认识的当地人。组团之前，我们在学校附近和车站前发传单，动员当地的人们一起参加。另外，动脑筋去捉摸去小松的哪些地方才能让大家都感兴趣的策划过程也很有意思。去年的探访活动，除了当地人，还有10名校际交流伙伴的大阪高中生参加。同时，我们也参加了他们组织的大阪之行，参观了大阪的韩国街及牧场等。“小松检定”让我们有机会体验到平常学校生活中无法体验到的经历。

Q：今后有些什么策划？

芙友季： 我很期待着在庙会等活动中向当地的人们宣传“小松检定”，比如开展“小松检定猜谜活动”等，让大家能够分享其乐。为了筹备11月的考试，有很多工作需要事务局全体成员共同完成。身为事务局长，希望能够创造良好的氛围，让所有人都能畅所欲言。为了让大家都开开心心地工作，我平时很注意倾听别人的意见。

夏希： 我也很期待在庙会等活动中跟小松的人们交流。身为事务局副局长，我要踏踏实实做好芙友季的帮手！（笑）

芙友季： 你看，我又被宠惯了！（笑）。

Q：高中毕业后有些什么打算？

芙友季： 我很喜欢学簿记，所以希望从事财务、会计的工作。比如，制作财务结算表，需要进行很多计算，非常花费时间和精力。但是，完成结算表的那一瞬间，很有成就感！我想留在本地工作。去外县有点可怕，大阪还觉得稍微熟悉一点，但东京就有点可怕了。可能的话，还是想待在自己一直生活的地方。

夏希： 以前有段时间我很想去外县的其他地方，去结交许多朋友，不过现在还是想留在本地工作。我也觉得城市的人比较冷漠，给人的印象有些可怕。今年，我打算去应聘金融方面的公司。如果能够在银行工作的话，会有更多的机会跟当地的人们交谈，那样会对当地有更多的了解。

（采访时间为2009年8月）

注1

町家：江户至昭和时代（二战前）建造的商人、手艺人的住宅。